

自主臨床研究の一覧

現在当科では以下のような前向き自主臨床研究を行っています。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞご協力よろしくお願いたします。

研究名 [承認番号]	中心研究者	対象診療科	研究概要	進行状況
経頭蓋ドプラによる脳血流速度と近赤外分光法による脳酸素化モニタリングの使用による各種小児心臓手術時の脳内循環変動の検討 [No. 016-0506]	山本 真崇	循環器・呼吸器外科	経頭蓋ドプラと脳酸素飽和度の同時測定を行い、手術中の脳循環動態の変化を明らかにするとともに、予後との関係をも検討して、臨床的モニタリングとしての有用性も検討する	データ収集中 (2021.3 終了予定)
小児における脳酸素飽和度 —児年齢と機種による相違について— [No. 017-0137]	久保 康則	全手術科	小児手術において、INVOS5100とtNIRS-1の測定値の年齢による相違を検討するとともに、併せて機種による相違を検討する	終了 結果公表準備
帝王切開術における脊髄くも膜下麻酔時の脳循環変化の検討 [No. 017-0280]	森本 裕二	産科	帝王切開術における脊髄くも膜下麻酔によって、脳酸素飽和度や脳血流量の絶対値がどのように変化するか、tNIRS-1および経頭蓋ドプラで測定し検討する。	終了 結果公表準備
フェニレフリンとエフェドリン投与による脳酸素飽和度変化の検討 [No. 017-0490]	久保 康則 久保 智紀	外科・婦人科など	麻酔中の低血圧に対して使用されたフェニレフリンやエフェドリン投与で、近赤外時間分解法で測定した脳酸素飽和度がどのように変化するか、tNIRS-1を用い測定する。併せて、脳内ヘモグロビン濃度の絶対値変化からその原因を検討する	終了 結果公表準備
腹部大手術における微小循環反応変化に関する研究 [No. 018-0016]	水野谷 和之 八木 泰憲	消化器外科II	予定時間8時間以上の肝胆膵外科手術の前後で下肢の駆血により血管閉塞試験を行い、足底で組織酸素飽和度(StO2)を測定する。駆血解除後のStO2の回復速度（これが微小循環機能を反映する）が長時間手術の前後でどのように変化するかを検討する。	終了 結果公表準備
小児、思春期脊柱側弯症手術の出血量に影響する周術期因子の前向き観察研究—特に血圧の影響について [No. 018-0416]	土岐 崇幸	整形外科	脊柱側弯症において術中血圧を下げることによって出血量を減らす試みがあるが、本当に血圧と出血量に関係するのかについてはまだ不明な点が多い。本研究では、脊柱側弯症の手術における術中血圧やその他の周術期因子と出血量の関係性を検討する。	データ収集中
小児、思春期脊柱側弯症手術における運動誘発電位低下原因の検討-特に術中脳波（bispectral index(BIS)）との関係 [No. 018-0437]	土岐 崇幸	整形外科	脊柱側弯症手術では通常MEP検査を実施している。MEP波形には麻酔薬が大きく影響するとされているが原因が麻酔薬そのものなのか、深鎮静状態なのか結論は出ていない。本研究では、脊柱側弯症の手術におけるBISモニターの数値や麻酔薬使用量などとMEP波形振幅との関係性を検討することで、鎮静状態や麻酔薬使用量などとMEP波形との関連性を検討する。	データ収集中

<p>ビーチチェア体位での関節鏡下肩手術における脳循環に関する研究2 [No. 019-0238]</p>	<p>糸洲 佑介</p>	<p>整形外科</p>	<p>ビーチチェア体位での関節鏡下肩手術における脳酸素飽和度変化を時間分解分光法を採用した脳酸素飽和度測定機tNIRS-1で観察する。全身麻酔や神経ブロックの影響も併せて検討する。</p>	<p>審査終了済み 開始準備中</p>
<p>カルペリチド投与が血管内皮グリコカリックスへ与える影響 ～非心臓大血術後患者における検討～ [No. 019-0059]</p>	<p>水野谷 和之</p>	<p>循環器外科術後以外のICU入室患者</p>	<p>心房性ナトリウム利尿ペプチド(ANP)が血管内皮グリコカリックス(GCX)障害に関与している可能性が指摘されている。本研究では、カルペリチド(ハンブ®)が日常診療内で投与される非心臓血管術後の重症患者を対象として、カルペリチド投与前後の「舌下粘膜の微小循環動態変化」および「GCX分解物の血中濃度」の2つを用いて、カルペリチドがGCX障害に与える影響を検討する。</p>	<p>審査終了済み 開始準備中</p>
<p>カルペリチド投与が血管内皮グリコカリックスへ与える影響 ～心臓血管外科術後患者における検討～ [No. 019-0016]</p>	<p>水野谷 和之</p>	<p>循環器外科術後のICU入室患者</p>	<p>心房性ナトリウム利尿ペプチド(ANP)が血管内皮グリコカリックス(GCX)障害に関与している可能性が指摘されている。本研究では、カルペリチド(ハンブ®)が日常診療内で投与される心臓血管外科術後患者を対象として、カルペリチド投与前後の「舌下粘膜の微小循環動態変化」および「GCX分解物の血中濃度」の2つを用いて、カルペリチドがGCX障害に与える影響を検討する。</p>	<p>審査終了済み 開始準備中</p>
<p>Glycocheck®による検査の再現性に関する検討 [No. 019-0413]</p>	<p>土岐 崇幸 水野谷 和之</p>	<p>消化器外科 (消化管G)</p>	<p>血管内皮グリコカリックス(GCX)の評価ツールであるGlycocheck®は、舌下粘膜の微小血管を微細なカメラで撮影し、微小血管内を流れる赤血球の挙動からGCXの状態を推定する。本研究では、Glycocheck®の測定者内ならびに測定者間の検査再現性を全身麻酔導入後の手術患者で検討する。</p>	<p>データ収集中</p>
<p>M-TAPAによって得られる胸腹部の鎮痛範囲に関する検討 [No. 019-0428]</p>	<p>相川 勝洋</p>	<p>婦人科</p>	<p>2019年に報告された体幹部ブロックM-TAPAは、TAPブロックなどに比べ広範囲かつ長時間鎮痛効果が得られる可能性のある魅力的な方法であるが、M-TAPAにより得られる鎮痛範囲に関して体系的に調べた研究はない。そこで全身麻酔にM-TAPAを併用し婦人科腹腔鏡手術を受けた患者を対象に、得られる鎮痛範囲、およびそれが身長・体重・年齢と相関するか検討することが本研究の目的である。</p>	<p>データ収集中</p>
<p>レミマゾラムによる麻酔導入時の脳血液量と脳血流量変化の検討 [No. 020-0200]</p>	<p>副島 崇旨</p>	<p>手術患者全般</p>	<p>新しい麻酔薬であるレミマゾラムによる麻酔導入によって、脳血液量、脳血流量や脳酸素飽和度がどのように変化するかを、経頭蓋ドプラとtNIRS-1を用いて経時的に測定する。</p>	<p>データ収集中</p>
<p>透析患者における脳酸素飽和度－機種による比較</p>	<p>森本裕二</p>	<p>泌尿器科 生体腎移植のレシピエント・ドナー</p>	<p>透析患者では脳酸素飽和度低下が報告されているが、原因は明らかではなく、modified-Beer Lambert法を使用しているINVOS®を用いた報告がほとんどである。INVOS®による脳酸素飽和度は頭蓋外成分の影響を受けやすいことが知られているため、本研究ではINVOS®を含む3機種を使用し、機種間の測定結果の違いを検討する。また透析歴ない対照群としてレシピエントでの測定結果についても比較検討する。</p>	<p>IRB審査中</p>

詳しい内容につきましては各研究担当者にお気軽にお尋ねください。